

2024 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

障害者ピアサポート研修の実施内容の検証及び更なる効果的な実施方法の確立に向けた研究
(24GC1004) 研究代表者 岩崎 香

分担研究：知的障害領域のピアサポートの有効性の検討

研究分担者

森地 徹 筑波大学人間系障害科学域

研究協力者（五十音順）

阿部 繁幸 レインボー青森
石崎 洋美 にじいろで GO!
伊藤 広也 NPO 法人北茨城市手をつなぐ親の会 本人部会
遠藤 美貴 さいたまみんなの会
奥村 安德 社会福祉法人北九州手をつなぐ育成会
角田 辰雄 本人会 サンフラワー会
鈴木 胖 NPO 法人北茨城市手をつなぐ親の会
中村 真一 社会福祉法人東京都知的障害者育成会 ゆうあいかい
奈良崎 真弓 本人会 サンフラワー会 / にじいろで GO!

研究要旨：

本研究では、現状において知的障害領域におけるピアサポートに類似する活動である本人活動の有効性を検証し、そのことを踏まえた上で、知的障害領域においてピアサポートを展開することの意義について検討することとした。その結果、本人活動の有効性については「色々な人に支えてもらえる」「色々なことを身に着けることができる」「人間関係が広がる」「イベントに参加することができる」「自分を変えることができる」「伝えたいことを伝えることができる」という概念的カテゴリーを確認することができた。その上で、「色々なことを身に着けることができる」「イベントに参加することができる」といった本人活動特有の有効性が見られる反面、「色々な人に支えてもらえる」「人間関係が広がる」「自分を変えることができる」「伝えたいことを伝えることができる」といった本人活動の有効性の一部の内容については知的障害領域におけるピアサポートにおいても共通する内容になることが考えられた。

A. 研究の背景

令和3年度の報酬改定の中で、ピアサポートの専門性の評価として、「ピアサポートの専門性について、利用者と同一目線に立って相談・助言等を行うことにより、本人の自立に向けた意欲の向上や地域生活を続ける上での不安の解消などに効果があることを踏まえ、一定の要件を設けた上で、加算により評価する。」とされ、自立生活援助、計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援における、ピアサポート体制加算が示され、就労継続支援 B 型におけるピアサポート実施加算が示された。また、「利用者と同一目線に立って相談・助言等を行うことにより、本人の自立に向けた意欲の向上や地域生活を続ける上での不安

の解消などに効果があることを踏まえ、一定の要件を設けた上で、加算により評価するピアサポートの専門性について、令和6年度の報酬改定により、ピアサポート実施加算の対象サービスを拡充する。」として、自立訓練、共同生活援助におけるピアサポート実施加算が示された。

しかしながら、知的障害領域においてはこれらの加算の対象となる実績はまだ見られない。一方で、「利用者と同一目線に立って相談・助言等を行うこと」については、知的障害領域では本人活動として30年以上にわたって行われてきている。この本人活動は世界的に見るとセルフアドボカシーとして展開されているが、その特徴として、知的障害のある人による知的障害の

ある人のための権利擁護活動であることを指摘することができる。この本人活動は知的障害のある人たちの任意の取り組みとして展開されているが、その有効性については未だ検証されていない。

B. 研究目的

本研究では、現状において知的障害領域におけるピアサポートに類似する活動である本人活動の有効性を検証し、そのことを踏まえた上で、知的障害領域においてピアサポートを展開することの意義について検討することとする。

C. 方法

本人活動については知的障害のある人たちの任意の取り組みであり、必ずしもすべての活動団体の状況が把握されているわけではないため、その有効性についての全体像を把握することはできない。そのため、本研究ではインタビュー調査により探索的に本人活動の有効性の検証を図ることとする。なお、知的障害領域におけるピアサポートについて加算の対象となる取り組みはまだ行われていないものの、ピアサポートの趣旨に沿った取り組みは一部の団体で行われているため、そのような団体は調査対象に含めることとした。

その際、本研究におけるインタビュー調査は当事者参加型で行うこととし、本人活動の全国的なリーダーたちに研究協力者として、①インタビュー調査項目の設定、②調査先の選定、③インタビュー調査の実施における協力を得ることとした。

その上で、インタビュー調査の調査項目について次のように設定し調査を実施することとなった。

「1. 本人活動やピアサポートでどんなことを学びましたか？ 2. 本人活動やピアサポートで良かったことはどんなことですか？ 3. 本人活動やピアサポートで自分の人生が変わったことはありましたか？あったという場合、それはどんなことでしたか？4. 本人活動やピアサポートで何か相談したことはありましたか？あったという場合、それはどんなことでしたか？5. 本人活動やピアサポートで何か助けってもらったことはありましたか？あったという場合、それはどんなことでしたか？」

そして、前述の本人活動の全国的なリーダーである研究協力者たちの縁故によりインタビュー調査を実施することとした。その結果、令和6年度については全国7か所（東北2か所、関東3か所、近畿1か所、九州1か所）で調査を実施することとなった。また、調査にお

いては前述の本人活動の全国的なリーダーである研究協力者たちがインタビュアーを務めることとした。なお、その際のインタビュー対象者1人当たりの調査時間は15分から20分程度とした。

調査の実施に際しては筑波大学人間系研究倫理審査委員会承認（筑2024-131A）を受けた上で実施した。その際、調査の実施に際しては、個人を特定できる調査データを開示しない、収集した調査データは鍵をかけたロッカー等で保管・管理する、個人情報を含む書類等は研究期間終了後一定期間経過後にシュレッダー等にて裁断または粉碎のうえ破棄する、調査への協力は対象者の自由意思によるものであり協力の拒否による不利益は一切生じない、回答したくない質問項目は回答拒否できる、調査協力への中止、撤回をした場合でも何ら不利益を受けることはない、インタビュー内容について同意を得た上で録音を行うということについて倫理的配慮を行った。

D. 結果

51名の本人活動に関わる知的障害のある人からインタビューデータを得ることができた。このインタビューデータについて逐語録を作成し、インタビューデータとした上で質的分析を行った。その際、佐藤の質的データ分析法（佐藤2008：1-211）を参考に、質的データ分析ソフトであるMAXQDA24を用いて分析を行った。

分析手順としてはまず複数のインタビューデータを1つ1つ事細かく読み込みながら思いつくままにコードを書き込んでいくオープン・コーディングを行った。そしてその後、より抽象度の高い比較的少数の概念的カテゴリーに対応するコードを選択的に割り振り、概念同士の関係について明らかにする焦点的コーディングを行った。

そして、複数のコード同士の関係やコードとデータの関係などについて比較検討を繰り返す中で概念モデルを構築していく継続的比較法を用いてデータを分析した。

なお、本研究における本人活動の有効性については、「本人活動やピアサポートに参加してよかったこと」と概念定義をした上で分析を行うこととした。

その上で、インタビューデータに対してオープン・コーディングを行った結果、287データが抽出された。そしてその中から13のコードを生成し、これらのコードに焦点的コーディングを行って6つのカテゴリーを生

成した。

その結果、本人活動の有効性については、「色々な人に支えてもらえる」「色々なことを身に着けることができる」「人間関係が広がる」「イベントに参加することができる」「自分を変えることができる」「伝えたいことを伝えることができる」から構成されることがわかった。

(1) 色々な人に支えてもらえる

「色々な人に支えてもらえる」については、「手助けしてもらえ」「相談することができる」「アドバイスをしてもらえ」の3つのコードから構成されていることがわかった(表1)。

これらのうち、「手助けしてもらえ」は本人同士で手助けしあうこと、支援者に手助けをしてもらうこと、あるいは本人と支援者の双方に手助けしてもらうことを、「相談することができる」は本人に相談する場合と支援者に相談する場合があることを、「アドバイスをしてもらえ」は本人、支援者、あるいは本人と支援者にアドバイスをしてもらえをそれぞれ表している(表1)。

(2) 色々なことを身に着けることができる

「色々なことを身に着けることができる」については、「色々なことを学ぶことができる」「勉強の機会を得ることができる」の2つのコードから構成されていることがわかった(表2)。

これらのうち、「色々なことを学ぶことができる」は本人活動を通して人とのコミュニケーションの方法を学ぶことができる等を、「勉強の機会を得ることができる」は学習の機会を通して金銭管理、障害者虐待、合理的配慮等について学ぶことができることをそれぞれ表している(表2)。

(3) 人間関係が広がる

「人間関係が広がる」については、「友達ができたり増えたりする」「色々な人と交流することができる」の2つのコードから構成されていることがわかった(表3)。

これらのうち、「友達ができたり増えたりする」は本人活動の中で新たに友達ができたり増えたりすることを、「色々な人と交流することができる」は色々な人と出会ったり話をしたりして交流することができることをそれぞれ表している(表3)。

(4) イベントに参加することができる

「イベントに参加することができる」については、「旅行に行くことができる」「本人大会に参加することができる」「色々な活動に参加することができる」の3つのコードから構成されていることがわかった(表4)。

これらのうち、「旅行に行くことができる」は本人活動で旅行に行くことができることを、「本人大会に参加することができる」は全国あるいは都道府県における本人大会に参加することができることを、「色々な活動に参加することができる」は本人活動において企画される様々な活動に参加することができることをそれぞれ表している(表4)。

(5) 自分を変えることができる

「自分を変えることができる」については、「成長することができる」「自分の意識を変えることができる」の2つのコードから構成されていることがわかった(表5)。

これらのうち、「成長することができる」は自分をうまく表現できるようになったり、質問に対して答えられるようになったり、積極的になったりしたことを、「自分の意識を変えることができる」は本人活動を通して仲間と話すことが好きになったり、仲間と接することが好きになったり、仲間の意見を聴けるようになったり、人のことを考えることができるようになったり、相談する側から聞く側になりたいと思うようになったりするなどして自分の意識を変えることができるようになることをそれぞれ表している(表5)。

(6) 伝えたいことを伝えることができる

「伝えたいことを伝えることができる」については、「自分の思いや体験を伝えることができる」のコードから構成されていることがわかった(表6)。

そのうち、「自分の思いや体験を伝えることができる」は本人活動を通して自身の様々な思いや体験を伝えることができるようになることを表している(表6)。

E. 考察

本研究では知的障害領域におけるピアサポートと類似する活動である本人活動について、その有効性の検証を図った。その結果、「色々なことを身に着けることができる」「イベントに参加することができる」といった本人活動特有の有効性が見られる反面、「色々な

人に支えてもらえる」「人間関係が広がる」「自分を変えることができる」「伝えたいことを伝えることができる」といった本人活動の有効性については一部の内容については知的障害領域におけるピアサポートにおいても共通する内容になると考えられる。この点を踏まえて、次年度さらに調査データを積み重ねた上で知的障害領域においてピアサポートを展開することの意義について検討できればと考える。

F. 健康危険情報

無

H. 研究発表

無

I. 知的財産権の出願・登録状況

無

J. 文献

佐藤郁也, 2008, 『質的データ分析法－原理・方法・実践』新曜社。

表1 色々な人に支えてもらえる

概念的カテゴリー	コード	データ
色々な人に支えてもらえる	手助けしてもらえる	・本人活動とかやってよかったのが、みんなの仲間が支えたおかげで、いろんな役員の周りとかの支援者とか、そういう周りがいたから。・仲間に支えてもらったっていうより、お互いに助けてもらったり、助けてあげてたりしてたので、そういうことに関してはあるのかなと思う。・助けてもらっているのは、やっぱり行事ごとなんですけども、活動のほうでは、やっぱり再確認、この本人活動のメンバーは、その段取りとかもそうですけども、それを確認してくれるので、だから、それがすごく段取りとしてもいい部分でもありつつ。・司会を2人で進行していたときに、自分、こうやって普段早口になりがちなんで、そこをAさんとかにカバーしていただいたりとかとても助かっていました。・(支援者が)メールのお知らせとか、何日に集まってくれて。・私、今年の本人大会で支援者さんに付いたんだけど、分かんないことあると後ろでこそそこそと教えてくれて、すんごい助かった。・当事者会でいったら、当事者会のときにどういことを言ったらいいのかも分らなかったから、そのときに助けてもらったり。・ここはみんなで仲間がしっかりと一緒におること助け合っているけ。・みんな大丈夫？とか心配してくれたり、寄ってきてくれたりしてくれて助けてくれるとこは助けてくれます。
	相談することができる	・本人活動の会でも、実は相談したことございまして、本人活動の会の仲間に相談したことあるんですよ。・(支援者に)こんな仕事、いいんじゃないって、そういうアドバイスじゃないけど、聞いてもらったっていう意味で。・うちは家族が複雑やから家族関係のことを(支援者に相談した)。・最初の場合は、やっぱ運営のやり方とか、支援者の方に相談しながらやりました。・本人活動で、例えば申込書の書き方が分からへんとか、そういうことに関して(支援者に)相談。
	アドバイスをもらえる	・自分が交通手段で行き方が分からないっていうふうになると、行き方のルートを(仲間に)教えてもらったり、時間帯を覚えてもらったりとか、バスの降り方とか、ここで降りれば大丈夫だとか、そういうことを教えてもらって、1人で行動を取れるようになったかなと思います。・見学、行くじゃないですか。見学。見学、行ったときに(仲間に)アドバイスしてもらって。・(支援者に)新聞の書き方とか文章の組み立て方とか、いろいろと教えてくださったことは本当に忘れられません。・自分一人だけの力じゃなくて、みんながあって、いろんな人からアドバイスをもらって、今の自分に至るんで、それをこれからも少しずつ精進していこうかなって思ってます。・自分、字書くのが苦手ですぐ斜めっちゃったり、上に上がったりするんですけど、そのときにこういうふうにしたら真っすぐ書きやすくなるよとか教えてもらったのがあったり。

* データは逐語録の一部を抜粋している。

表2 色々なことを身に着けることができる

色々なことを身に着けることができる	色々なことを学ぶことができる	・コミュニケーション能力。・やっぱり当事者たちの生活とか、そういったものを聞いて、そこにコミュニケーションって正解、不正解ない中で、やはり自分はこういうふうに生かしてみようとか、成功させるというか、自分を成功させる方向で学んでいったというか。良いところはどんどんと持っていくというか、そういうふうな学び方をします。・本人活動では、コミュニケーションとか会話ですね、人との会話。・本人活動の場合は、運営のやり方とか。・仲間の絆。・こういう考え方もあるんやなっちゃうのを学べた。・そういうのは少しずつでも聞いてあげられるってことが、今のところ勉強になってるような感じですよ。・分かりやすい版パンフレットを作るのが好きで、それ以外にもサインピクチャーとかそんな作ったりとか。あんなんでも、いろいろ作りながら学んできたかなっていう。・学校から卒業すると、いろんなことが勉強できなかったもので、そういう勉強ができてよかったと思うし、学んだっていいこともあります。・本人活動は、知ってる先輩がたとかで、こうやって県外の人たちと関わって、すごく勉強になるっていうか、いいことだと自分は思っているって感じですね。・健常者としては学べないことを本人大会を含めていろんな所に毎年行くと思うんです。・いろいろなことを勉強できる。・だから、やっぱりこれ(本人活動)で学んでたから、いろいろ。・人との接し方があんまりよく分かんなかったけど、当事者会に出たことで人との関わり方が分かるようになった。・考え方が違ってたまにぶつかり合うこととかはあるんですけど、当事者委員とかでも、でも、自分の意見を貫き通すんじゃなくて相手の考え方も尊重し合える、尊重しないといけなくなっていくところをちょっと学べた気がします。・人間関係性とか友達づくりの大切さというのこの14年間の中でもう学ばせていただいたなって感じですね。・
	勉強の機会を得ることができる	・お金の管理などについて勉強を学びました。・お金についての勉強会。・虐待防止法とか、あと自分の障害者手帳の1級、2級とか、そういうことかな。あと、障害年金。そういうのがもらえる、もらえないっていうのがあったので、そういうことを学んだかなと思います。・障害者の虐待防止のこと、障害者差別、合理的配慮のことを本人大会で学びました。・学んだことは虐待をしているところを見て、どんなふうだったか改善したほうがいいとか、学びました。・ピアサポートやったら、最近やったら合理的配慮とかかな。・携帯の使い方とか。・勉強の中では、警察の人が来ているいろいろと詐欺についてのことを。・印象に残ってるのは、自分が前やった消防。・自分の住んでる地域の避難場所はここですって、ちゃんと覚えましょうとか。・印象に残ったのは、本人の相談会で『知る見る』と、あと、だな。・あと本人のための本人の相談会について。(福祉)制度のことを学んだような気がする。・食生活のこと。・世界大会とかに行ったら権利条約。・勉強してる。・仲間の、いろんな生活をしている方とか、例えば施設、グループホーム、自宅、そのことを学べてよかったです。

* データは逐語録の一部を抜粋している。

表3 イベントに参加することができる

イベントに参加することができる	旅行に行くことができる	・旅行。・日帰り旅行とか。・みんなで、いろんな所へ行けた。・みんなでバスに乗って。・Aの旅行もよかったです、去年。・水族館。・観光が楽しみなんですよ。写真、風景を撮るの好きですから、私自身が、結構。・入ってよかった。ディズニーがあるから。・私は一番、楽しかったのは、旅行も楽しかったけど、なかなか海外って行けないじゃない。だから私は韓国の旅行は、すごく楽しかったの。
	本人大会に参加することができる	・全国大会でA県に行ったこと。・毎年いろんな全国大会にも行けて。・(本人活動の)全国大会に参加できたこととかもそうやし。本人大会とか。・A県なりB県なりC県、あとD県でも全国大会で行ってきたから、それがよかったです。・今年、本人大会、行って、すごくみんなと一緒にわいわい楽しかったこととか。・私のこと言いますけどもA県(の本人大会に)、行ったことですね。
	色々な活動に参加することができる	・レク。・合同レクも県内の人たちと交流できてよかった。・交流会。・私は、コロナ前にお料理とかしたりしました。あの、カレー。・私は入ってよかったのは、ダンスしてるんで、ダンスでもいろんななどでも。・ボーリング大会とか。・忘年会なり新年会があるから。・2週間交流大会で韓国のソウルに行ったときが楽しかったです。

* データは逐語録の一部を抜粋している。

表4 自分を変えることができる

自分を変えることができる	成長することができる	・今、会長になって、周りが本当にやり方が違うなって、自分でも成長してよかったなって、そういう感じはしてます。・実は今年でございすけども、本人大会の実行委員ということで本人大会の実行委員と、そして新聞委員でございすけども就任させていただきまして、私でございすが成長してきました。・自分をうまく表現できるようになった。・人とのコミュニケーションも苦手やったし人見知りっていうのもあったけど、ここに来てそれがなくなったかなっていう。だから仕事とかしてても普通に距離を空けることなくいけるかなって。・自分のことなんですけど、あんまり知らない人とかとはしゃべるのが苦手なんですけど、本人活動の会に入って最初は支援者の後ろに隠れたりしてたけど役員をやったりしてから人としゃべれるように。・私は発表するのがすごく苦手で、ちょっと発言ができるようになったんかなとは思って。・本人大会の実行委員やらせていただいたときに、質問に対して答えられるようになったところかな。・いろいろ職員に質問に答えるようになってよかったなって思いました。・積極的になったんですね。・普段の生活で、難しかったことができるようになったとか。・僕は性格は変わらないけど、なんか変わってるって言われた。・それは自分が結構気が激しくて、何事に対しても好き嫌いが激しいんですけど、意見とかがぶつかったときとかに一方的に、がーって言ってしまふ性格なんですけど、それじゃいけないなと思って、ここで自分をコントロールするみたいなの。・自分のためにもなる。・理解とか、当事者活動だから理解とかすることができるようになりました。
	自分の意識を変えることができる	・最初はこうやって話す機会が、みんなと話すことが自分、結構苦手なほうだったんですけど、当事者という存在を知って、本人大会とかいろんな大会に発表者としても出させていただいたり、司会者としても2、3年出させていただいたことで、みんなと話すことがとても大好きになってきたかなっていう感覚ですね。・月に1回みんなと会えて、いろんな人と、この仲間の人と話をして考え方がちょっと変わった。最初はいろんな方と接することがちょっと苦手だったんですけど、この当事者会を通してだんだんみんなと接する機会がとても好きになってきて本当によかったなって思ってます。・自分の気持ちだけじゃなくて、仲間の意見もだんだん聞けるようになってきたことです。・人のことについて考えるようになりましたかね。・私も一般のって言ったらおかしいけど、一般の人に相談することと障害者の同じ障害を持っている人に相談することってやりやすい、やりにくいっていうものもあるし。そこを考えたらく側になりたいなと思って。

* データは逐語録の一部を抜粋している。

表5 伝えたいことを伝えることができる

伝えたいことを伝えることができる	自分の思いや体験を伝えることができる	・本人大会とかで、会場で意見とか言わしてもらったことかな、決意文みたいないところ。・日中韓交流大会で大勢の人の前で発表できた。・まず話すことの大切さ。・大体、当事者会なんで当事者のみんなで話し合っただけな会なんで、みんなで意見出し合っただけ。・前、勤めてた会社のこと、いろいろ発表した。・自分のことを知ってもらった経験とか、生い立ちとかをそうやって発表できる場所を設けてもらったことは、自分的には初めての経験で良かったかなと思います。・子どもたちに自分の障害者のことを発表しに行ったことがよかった。・自分の過去のこと、過去のこととかを話して、約10分から15分話して、みんな真剣に聞いてくれて。・何回か話したら、いろんな人に障害のことが分かってもらえてよかった。・自分の生い立ちが言えたんでよかったかなと思ったんで。
------------------	--------------------	--

* データは逐語録の一部を抜粋している。